



「医療と介護の協議の場」 開催状況について

※医療と介護の協議の場（平成29年3月17日厚生労働省通知他）

医療計画、市町村介護保険事業計画及び都道府県介護保険事業計画を一体的に作成し、整合性を確保することができるよう、原則二次医療圏単位で設置。計画策定において県、市町村、地域医師会等の関係者が協議・連携する。

菊池地域では“菊池地域在宅医療連携体制検討会議”と呼称。



第1回 平成29年9月1日(金) 19:00~20:30 菊池郡市医師会立病院 2階多目的ホール

○ 議題

- ・ 協議の場の設置及び年間スケジュール表
- ・ 県の在宅医療介護連携にかかる取組み、方向性、重点施策
- ・ 医療と介護の整合性の確保
- ・ 菊池地域の介護保険事業の現状及び市町・医師会の取組みなど

○ 構成団体

- ▽ 菊池郡市医師会
- ▽ 菊池郡市歯科医師会
- ▽ 菊池郡市薬剤師会
- ▽ 熊本県看護協会菊池支部
- ▽ 熊本県栄養士会菊池地域事業部
- ▽ 熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部
- ▽ 熊本県医療ソーシャルワーカー協会
- ▽ 熊本県介護支援専門員協会菊池支部
- ▽ 熊本県訪問看護ステーション連絡協議会阿蘇・菊池支部菊池ブロック
- ▽ 熊本地域リハビリテーション支援協議会
- ▽ 熊本県老人保健施設協会菊池ブロック
- ▽ 熊本県地域密着型サービス連絡会菊池市老人クラブ連合会
- ▽ 菊池市、合志市、大津町、菊陽町、保健所

第1回 平成29年9月1日(金) 19:00~20:30 菊池郡市医師会立病院 2階多目的ホール

○ 議事概要

- ・平成29年3月に熊本県地域医療構想策定が完了。
- ・2025年及びそれ以降に増大する在宅医療等の需要を踏まえ、住民が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるよう、医療・介護関係者が連携して在宅サービスを提供するために必要な施策等を検討。

○ 意見

- ・病棟看護師に在宅医療や訪問看護師のことを知ってもらうことが必要。
- ・各市町村で本人の希望と本人と家族の心構え、死生観、事前指示書の普及の取組が必要。
- ・介護する家族の疲れや情報不足を解消するため、同じ境遇の方と情報交換ができるような場があると良い。 など

第2回 平成29年11月17日(金) 19:00~21:00 菊池郡市医師会立病院 2階多目的ホール

○ 議題

- ・ 在宅医療や介護サービス等の追加的需要への対応
- ・ 第7次保健医療計画における在宅医療の取組(素案)の方向性
- ・ 菊池圏域の地域保健医療計画における在宅医療の取組(素案)
- ・ 市町による住民啓発の取組

など

○ 議事概要

- ・ 在宅医療や介護サービス等の追加的需要に対応するための体制整備を県、市町、医師会等を中心に進める。
- ・ 県全体及び菊池圏域の保健医療計画(素案)や市町村による在宅医療・介護連携推進事業に関する意見交換を行った。

○ 意見

- ・ 病院側としても今後は施設や在宅サービスの方との連携が必要。
- ・ 病院がバックベッドとしての機能を担うには、施設側と急性期になった時にどうするかをきちんと話し合うことが必要。
- ・ 核家族化で患者や家族の悩みも増えている。家族構成も複雑化しており、そういう中での退院支援で苦慮している。
- ・ 口腔機能の重要性が見直されている。食支援には栄養、リハビリ両方の側面からの支援が必要。地域ケア会議に歯科の参加も検討してほしい。
- ・ 施設での看取りをスムーズに行うこと、看取りができる施設の増加が重要。
- ・ 訪問看護指示書について、医師によっては何度催促してもなかなか書いてもらえないことがある。 など